

令和8年度

# 胆振中学校体育大会

第47回

## 胆振中学校バドミントン競技大会

**期日** 令和8年6月27日(土)

**会場** 登別市総合体育館

**主催** 胆振中学校体育連盟

**主管** 西胆振中学校体育連盟バドミントン専門委員会

**共催** 登別市教育委員会 室蘭地区バドミントン協会

**後援** 北海道教育庁胆振教育局 登別市



## 大会役員

大会長	胆振中学校体育連盟会長	菅田浩之
副大会長	胆振中学校体育連盟副会長 登別市教育委員会 教育長 室蘭地区バドミントン協会会長	福田剛 安宅錦也 吉野幸広
顧問	北海道教育庁胆振教育局長 登別市長 登別市スポーツ協会会長	田口範人 小笠原春一 高橋一栄
参与	登別市中学校長会会長	毛利憲二

## 競技役員

大会委員長	伊達市立大滝徳舜警学校長	阿部隆之
副大会委員長	室蘭地区バドミントン協会理事長 西胆振中学校体育連盟バドミントン専門委員長	山平博美 谷川敦樹
大会委員	西胆振中学校体育連盟事務局長	内浦正晴
レフェリー	室蘭地区バドミントン協会競技副委員長	今井康博
デビュティレフェリー	室蘭地区バドミントン協会事務局長	岡本祐太
デビュティレフェリー	室蘭地区バドミントン協会審判委員長	高瀬舞
総務副部長	室蘭地区バドミントン協会普及強化委員長	永井一之
競技審判副部長	室蘭地区バドミントン協会競技委員	東峰宏弥
競技委員	神山 秀人    上野 雄司    宮田 智文    鈴木 正規 島倉 健一    川淵 靖雄    多田知恵子    村上 航也 萬代 和史    奥野 太陽    金本 利基    張石 卓司 北川 拓郎    松田 冴子    前田 梨沙    神島 宗宏 加藤 康平    横山映里奈    越智 渡    佐藤 直嗣 鈴木 克治    扇 和真    越智 雅樹    菅原 麻衣 小林 博則    中野 孝    若松 剛広    伊藤 一希 廣中 長久    斎藤 智弥    渡邊 太基    川上 泰彦 高橋 伶    長尾 桃花    松本 大樹    廣中 昭子 川田 寿之    小笠原正光    河岸 巽    山田 光大	

# 令和8年度胆振中学校体育大会 第47回 胆振中学校バドミントン競技大会 開催要項

- 1 主 催 胆振中学校体育連盟
- 2 主 管 西胆振中学校体育連盟バドミントン専門委員会
- 3 共 催 登別市教育委員会 室蘭地区バドミントン協会
- 4 後 援 北海道教育庁胆振教育局 登別市
- 5 期 日 令和8年6月27日（土）
- 6 会 場 登別市総合体育館  
〒059-0026 北海道登別市若山町2丁目26-1 TEL 0143-85-5552
- 7 競技種目 (1)団体戦 男子チーム対抗・女子チーム対抗  
(2)個人戦 男子単・男子複・女子単・女子複

## 8 大会日程

会 期	8:00	8:10	8:30	9:00	9:10	9:20	17:00
6月27日(土)	開館	公開練習		開会式		整備	競技開始
			監督会議				

## 9 参加資格

- (1)胆振中学校体育連盟に加盟している中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、胆振中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
- (2)年齢は、平成23年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3)前項以外の生徒が参加を希望する場合には、その年度の6月30日までに、当該地区中体連を通じて、北海道中学校体育連盟に申し出ること。
- (4)参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活指導員とする。地域スポーツ団体においてはその代表者や指導者（成人）が引率を行うこと。ただし、当該市町村教育委員会の判断に基づき、学校長がやむを得ないと判断した場合には、外部指導者のみの引率及び監督業務の遂行を認める。
- (5)外部指導者（コーチ）は当該学校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録されたものとする。各学校のマネージャーは当該学校の教職員または生徒とする。また、地域スポーツ団体など（地域クラブ活動）のマネージャーは当該団体の構成員とする。
- (6)チーム（団体戦及び個人戦複）は、単一学校の生徒で編成されたものとする。ただし、北海道中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校（第1条に掲げるもの以外）と地域スポーツ団体など（地域クラブ活動）の参加を認める。
- (7)参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
- (8)同一年度内の参加は1人1競技とする。但し、夏季競技と冬季競技の重複は認めるものとする。
- (9)胆振中学校体育大会における参加の特例  
◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒

①学校教育法第 134 条の各種学校（第 1 条に掲げるもの以外）に在籍し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。

②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。

A 胆振中学校体育大会の参加を認める条件

ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。

ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

B 胆振中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 胆振中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

①地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。

②胆振中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

A 胆振中学校体育大会の参加を認める条件

ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。

ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。

エ 『運動部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（令和 4 年 12 月 27 日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ新たな地域クラブ活動」を遵守していること。

オ 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。

カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

B 胆振中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

ウ 胆振中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は 1 チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

C 参加を認めない場合

ア 胆振中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

③北海道中学校体育連盟バドミントン競技部『地域スポーツ団体等（地域クラブ）の参加規定』管内大会・地区予選会の参加申込の際の要件

D 地域クラブ活動の参加規定

1 参加を認める種目

- (1) 男・女団体戦、男・女個人戦（シングルス・ダブルス）とする。
- (2) シングルス・ダブルスを兼ねて出場することはできない。

2 地域クラブ活動の要件

- (1) 地域クラブ活動の所属員は、代表者（バドミントン協会登録の際の代表者と同一人物とする）・事務担当者・指導者・所属中学生とする。所属中学生以外は、成人（20歳以上）とする。
- (2) 大会への参加を希望する地域クラブ活動は、北海道中体連が定めた団体登録手続きを定められた期間内に行うこと。
- (3) 登録する地区中体連は、地域クラブ活動に所属している中学生（男女別）の在籍学校およびその学校所在地とその人数を基準として判断する。
  - ① 所属中学生の人数の過半数以上が在籍している学校もしくは学校所在地（同一地区内の学校であれば、それらの学校の人数を合算する）がある地区の中体連
  - ② 在籍学校所在地がある地区が2つ以上で、どの地区も所属中学生の人数が当該クラブ活動に所属している選手の過半数に満たない場合は、在籍学校所在地がある最も多い地区の中体連
  - ③ 上記①②の条件にあわない（在籍学校がある地区が2つ以上かつどの地区も数が同じで、過半数も最多も判断できない）場合は、地域クラブ活動が日常的に活動している地区の中体連
- (4) 所属中学生の男女で在籍校所在地の割合が違い、登録をする地区中体連が別になる場合は、以下のように判断をし、男女が同一地区中体連に登録をすることとする。
  - ① 男女合わせての総人数の在籍学校所在地が最も多い地区中体連に登録する。
  - ② 最多地区を判断できない場合は、地域クラブ活動が日常的に活動をしている地区中体連への登録とする。
- (5) 年度初めに登録をした地区は、その年度内は変更ができない。年度の途中で所属選手の変化により、在籍学校所在地の割合が変わったとしても、地区の変更等は行えない。
- (6) 地域クラブ活動に所属中学生の在籍学校所在地と地域クラブ活動が活動、登録する市区町村が違っていても構わない。ただし、各地区中体連の登録条件によっては、その限りではない。
- (7) 諸事情により団体登録の取り消しや内容の変更が生じた場合は、登録した地区中体連を通して北海道中体連に届けを速やかに提出すること。
- (8) 学校部活動を含む1つの活動母体から登録できるのは1チームのみとする。同一の活動母体であると思われる場合は、大会申込時に学校の顧問及び学校長、地域クラブ活動の代表者に同一活動母体ではないことの証明を、指定した書式にて書面で提出してもらうことがある。
- (9) 登録をする際の地域クラブ活動の名称は、公序良俗に反しない、誤解を招く名称は避けること。また、同一地区内において、同一名称がないこと。他の地区において同一名称がある場合は、団体規約、登録された指導者等を同一団体ではないことを確認する。場合によっては、登録する名称の変更をお願いする場合がある。

### 3 地域クラブ活動の所属員

#### (1)所属中学生

- ①当該年度の夏季全国大会出場につながる大会（地区大会、管内大会、北海道大会等）に出場できるのは、一人1競技1回のみである。
  - ②夏季全国大会出場につながる最初の大会への申込後、その大会期間内は他の学校（地域クラブ活動）から大会に出場することはできない。転校（移籍）の場合もこれを認めない。
- (2)指導者を除く地域クラブ活動の構成員は、他の地域クラブ活動に重複して登録はできない。なお、地域クラブ活動の代表者及び指導者は、中学校の外部指導者に登録することはできない。

### 4 バドミントン協会登録について

- (1)大会への参加を希望する地域クラブ活動の所属員（代表者・連絡責任者・指導者・所属中学生）は、地区バドミントン協会を通して北海道バドミントン協会会員登録を行うこと。

#### (2)協会登録の際の注意点

- ①バドミントン協会会員登録用紙において、代表者は中体連事務局に登録の際の代表者と同じ人物とする。
- ②協会登録する際に、地域クラブ活動の代表者・事務担当者・所属中学生は、重複して他の地域クラブ活動や中学校において協会登録をすることはできない。

### 5 『指導資格を有する指導者』の資格要件について

- (1)地域クラブ活動の指導者は、令和7年度末までに日本バドミントン協会公認審判員資格（3級以上）を取得していること。（地区バドミントン協会が開催する審判講習会に参加すること）
- (2)令和7年度末までに日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格所持者が最低1名は所属していること。
  - ・短期間で取得が困難な場合は、団体登録後3年以内に取得することを可とする。
  - ・スポーツリーダー、スタートコーチ、他競技の指導者資格、スポーツ少年団スタートコーチも含む。

### 6 大会の参加申込の際の要件

- (1)地域クラブ活動は、各地区中体連が定める登録および参加条件を満たしていること。
- (2)地域クラブ活動は、登録する地区中体連および地区バドミントン協会がある市区町村において、地域の中学生の受け皿として継続的に活動を行なっていること。
- (3)地区中体連を通して、地区中体連並びに北海道中体連に登録をすること。また、その地区を管轄する地区バドミントン協会へ登録をすること。この両方を満たしていることを条件とする。
- (4)大会に引率する地域クラブ活動の指導者は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格、日本バドミントン協会公認審判員資格（3級以上）を取得していること。引率をする指導者が1人で両方の資格を取得、あるいは、2人で1つずつの資格を取得し、引率をするのであれば、どちらの場合でもよい。令和7年度末までに取得すること。なお、大会に引率する地域クラブ活動の指導者が、現職教員の場合は、スポーツ指導者資格保持者の代替として認める。
- (5)協会登録については、登録する地区バドミントン協会の規則に則って行うこととする。

- (6) 地域クラブ活動およびそこに所属する選手は、登録した地区中体連と地区バドミントン協会が一致する地区で行われる予選への出場を認める。出場する地区は、地域クラブ活動が登録した地区中体連以外からの参加は認めない。
- (7) 地域クラブ活動は、大会申込書に所属する選手の在籍校を明記すること。
- (8) 団体戦への参加については、団体戦登録選手のうち同一校の選手が4名以上いる場合、同一地区中体連において、その学校が団体戦に出場する場合は、その地域クラブ活動の団体戦出場を認めない。ただし、地域クラブ活動が、当該校の顧問及び学校長の署名がされた同一活動母体ではないことの証明書を指定した様式にて大会申込時に提出した場合は出場を認める

## 1 0 参加チーム数

- (1) 団体戦…男女ともに東胆振・西胆振地区から各2チームの計4チームとする。但し、参加チーム数が4チームに満たない場合は開催地の状況に応じて開催地区より、追加することができる。
- (2) 個人戦…男女ともに単8名、複8組とする。但し、参加チーム数が8チームに満たない場合は開催地の状況に応じて開催地区より、追加することができる。

## 1 1 登録人数

- (1) 団体編成は監督1名、外部指導者（コーチ）1名、マネージャー1名、選手5名以上7名以下とする。
- (2) 個人戦は、監督1名、マネージャー1名、外部指導者（コーチ）1名、単または複の選手とする。
- (3) 監督、マネージャーは、同一チームから男女別に1名までとする。マネージャーは当該学校の教諭もしくは生徒、チームの指導者もしくは中学生とする。
- (4) 外部指導者（コーチ）は、男女別各校（チーム）1名以内（団体戦、個人戦同一人物）とする。なお、中体連事務局への登録がA登録の外部指導者（コーチ）は、団体戦、個人戦ともに複数校への登録を認めない。B登録の外部指導者（コーチ）は、個人戦において複数校への登録を認めるが、団体戦において複数校への登録は認めない。
- (5) 当該校において外部指導者（コーチ）が引率を行う場合は、監督としての登録を認める。その場合、当該学校は、外部指導者（コーチ）として別の外部指導者（コーチ）の登録を認める。B登録の外部指導者（コーチ）が引率及び監督業務を行う場合でも、個人戦においては複数校の外部指導者（コーチ）登録を認める。この場合、引率及び監督業務を優先し、生徒の安全等に十分留意すること。

## 1 2 大会規則及び競技規則

- (1) 令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程による。**本大会は全試合15点3ゲームの代替スコアリングシステムを採用する。**
- (2) (公財)日本バドミントン協会競技検定・審査合格用具及び2026年度(令和8年度)検定合格球を使用する。
- (3) 団体戦及び個人戦ともにトーナメント方式で行い、3位・4位決定戦は行わない。
- (4) 団体戦は2複1単の対抗戦とし、複・単・複の順で行う。(同一選手が単と複及び複と複を兼ねて出場することはできない。)
- (5) 団体戦でベンチに入れるのは、登録された監督と、外部指導者（コーチ）又はマネージャーのどちらか1名並びに選手のみとする。
- (6) 個人戦でコーチングシートに入れるのは、登録された監督・外部指導者（コーチ）・マネージャーのうち、いずれか2名、並びに選手のみとする。
- (7) 個人戦は、同一選手が単と複を兼ねて出場することはできない。

### 1.3 組み合わせ抽選

団体戦及び個人戦ともに、令和8年6月18日（木）16：30より、登別市立鷺別中学校において、専門委員長立会いのもと、組み合わせ抽選をオンラインで行う。抽選した組合せ結果は、室蘭地区バドミントン協会のウェブサイトにて19日（金）に掲載する。

### 1.4 表彰

- (1) 団体戦、個人戦ともに入賞は3位までとする。
- (2) 団体戦優勝校には優勝杯を授与する。（持ち回り）
- (3) 表彰は、各種目終了後、順位が決定した選手から随時実施する。

### 1.5 大会参加料

- (1) 団体戦 1チーム8,000円
- (2) 個人戦 単1人1,500円、複1組につき3,000円
- (3) 大会参加料は、大会当日の受付において、現金にてチーム一括で納入すること。

### 1.6 参加申込

- (1) 出場校及びチームは、所定の用紙のファイルに必要事項を入力の上、下記専門委員長に締切日必着で申し込むこと。
- (2) 申込締切日 令和8年 6月16日（火） 16：00必着

〒059-0034 登別市鷺別町4丁目36-6  
登別市立鷺別中学校内 谷川 敦樹（宛て）  
TEL (0143) 86-7950 Fax (0143) 86-7961  
Mail atsuki\_tanikawa@noboribetsu.ed.jp

### 1.7 各種会議

- (1) 専門委員会 令和8年6月18日（木）16：30～ 組合せ会議前にオンラインで開催
- (2) 監督会議 大会当日の午前8時30分 会場にて開催

### 1.8 北海道中学校バドミントン大会への参加

男女とも、団体優勝校及び個人戦単ベスト4、複ベスト2までの選手は、胆振地区代表選手として、令和8年7月29日～31日に北ガスアリーナ札幌46（札幌市）で行われる第57回北海道中学校バドミントン大会への出場が認められる。

令和8年度 北海道中学校体育大会 第57回北海道中学校バドミントン大会  
期 日 令和8年7月29日（水）、30日（木）、31日（金）  
会 場 北ガスアリーナ札幌46  
〒060-0034 札幌市中央区北4条東6丁目  
TEL(011)251-1815 FAX(011)221-6064

### 1.9 個人情報の扱い

- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年・学校は、プログラム及びホームページ、大会記録へ掲載するために利用する。
- (2) 選手の大会成績は、ホームページへ掲載するために利用する。
- (3) 引率者又は監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。
- (4) 大会参加者の氏名・所属の背面表示は、試合進行上選手確認のために利用する。

## 20 その他

- (1) 申し込み後の負傷・疾病による選手の変更は団体戦のみとし、所定の用紙に必要事項記入し団体戦試合当日の受付に、監督会議までに大会事務局に申し出なければならない。また、選手の追加は認めない。
- (2) 競技時の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。着衣表示については、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。但し、ウェアの表示については、一部、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加える。
- 以下、申し合わせ事項より抜粋（右は例）
- ・文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とする。
  - ・文字列は日本文字（楷書）を使い2行までで、上段に学校名（チーム名）、下段に姓とする。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。
  - ・ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。（ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。）
- (3) ウェアの表示については、一部、（公財）日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加える。

市町名 学校・チーム名 室蘭太
--------------------

## 『 令和8年度 胆振中学校体育大会 第47回バドミントン競技大会 』 参加細則

### 1 全般的事項

- ① 試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため流し込み方式で進める。試合開始時間・コートの変更がありえるので放送に注意すること。
- ② アリーナ内については、選手またはIDを身に付けた人のみ入場することができる。
- ③ フラッシュやライトを点灯させての撮影および競技フロア内での撮影は禁止とする。また、生徒保護の観点から試合内容をYouTubeを含むSNSへの掲載やライブ配信を禁止する。
- ④ 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ⑤ 応援は品位を保って行うこと。鳴り物の使用、相手を煽る、囃し立てるような応援は認めない。
- ⑥ 大会参加者は、こまめに水分補給するなど、熱中症対策を講じる。

### 2 競技に関する事項

- ① 「レフェリー競技役員長から競技審判上の確認と連絡」のページを熟読すること。
- ② サービス高を1.15mに固定するルールを適用する。ポストにコート面から1.15m高さのところにテープでマークを付け、そのマークを基準にコート面から1.15mの高さのところに水平面をイメージし、判定をする。
- ③ 試合が連続する場合は、前の試合の後、10分間を確保して次の試合を開始する。
- ④ 入場について、番号の若い方プログラムで上に記載されている方が主審の左側に入ること。
- ⑤ 競技の服装は審査合格品とする。また、北海道中学校バドミントン大会に準じて、その大会要項に掲載されているゼッケンをつけ、四隅を留めることとする（背面表示がある上衣は、ゼッケンで全て覆い隠すこと）。なお、ウェアからはみ出すタイプのインナー等についても審査合格品とする。
- ⑥ コーチ席に入る監督、マネージャー、外部指導者等は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。ただし、今大会においては、Tシャツ、長袖Tシャツの着用を認める。コーチングシートでの半ズボン認めない。
- ⑦ コーチ席に入れるのは、団体戦・個人戦とも、登録している監督、マネージャー、外部指導者のうち2名以内とし、必ずIDを付ける。
- ⑧ フロア内での飲食や、ハードタイプのクーラーボックスの競技エリア内への持ち込みは禁止とする。氷のうは、ソフトタイプの保冷バッグに入れ、コーチ席で保管すること。
- ⑨ マナーとして、表彰、入退場や挨拶時、ウェア上衣の裾は、下衣に入れること。
- ⑩ マナーとして、選手は対戦相手と握手をすること。
- ⑪ 今大会はコートサイドにカゴを用意しない。タオル、スクイズボトル（水筒）、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド（主審側）に置くこと。バッグのファスナーを締めるなど、整理整頓を心がけること。また、その他の物はコーチ席で保管すること。なお、交換用ラケットはケースから出し、バッグの上に出しておくこと。
- ⑫ 試合中の水分補給は、基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに、試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし、飲み物はスクイズボトルやペットボトルなどに入れること。
- ⑬ 団体戦・個人戦ともに、初回戦のみ3分間のマッチ前練習を行う。団体戦は各チーム1コート、個人戦シングルスは対戦相手との練習、個人戦ダブルスはパートナー同士の練習とする。
- ⑭ 審判員の判定に対して疑問があるときは、団体戦は当該プレーヤーと監督、個人戦の場合は当該プレーヤーが質問できる。（大会運営規程第6章第36条）
- ⑮ 選手に対してうちわ、ハンディファン、氷のうを使用することは、インターバル時のみ認める。コーチ席に座っている者が使用することは、試合に影響がない範囲であればラリー中であっても認める。ただし、主審や大会本部から見てラリーに影響を及ぼしていると判断した場合は、大会レフェリーと協議をし、使用を禁止する場合がある。また、叩くなどの音を出す行為は、いかなる場合でも禁止とする。

### 3 審判に関する事項

- ① 地区協会で行う。線審は対戦校から1名ずつ担当する。得点係は、初回戦以外敗者が担当する。
- ② 主審はストップウォッチを首からかけ、シャトルが落ちたときから正確にインターバルの時間を測定する。インターバル終了20秒前には声をかけること。

## レフェリーから競技審判上の確認と連絡

本大会は、令和8年度（公財）日本バドミントン協会が定める競技規則、大会運営規程、公認審判員規程、および各連盟の申し合わせ事項にのっとり運営します。特に、次のことに注意してください。

### <競技規則>

#### 1 サービス(第9条)

- 1-1) サーバーとレシーバーがそれぞれの態勢を整えた後は、両サイドともサービスを不当に遅らせてはならない。
- 1-2) サーバーのラケットヘッドの後方への動きの完了した時点が、サービスの始まりを不当に遅らせているかどうかの判断基準となる。
- 1-6) サーバーのラケットで打たれる瞬間にシャトル全体がコート面から 1.15m以下でなければならない。  
(シャフトが下向きでなくてもフォルトではない)
- 2) それぞれのプレーヤーのサービスの態勢が整った後、サーバーのラケットヘッドの前方への初めての動きが、サービスの始まりである。

#### 2 プレーの継続、不品行な振舞い、罰則(第16条)

- 3 プレーの中断 プレーヤーの責任でない状況によって必要とされるならば、主審は必要と思われる間、プレーを中断することができる。
- 4 プレーの遅延 プレーヤーはどんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。

#### 5 アドバイスとコートを離れることに関して

- (1) シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り、プレーヤーはマッチ中、アドバイスを受けることができる。
- (2) プレーヤーはインターバルを除き、主審の許可なしに、マッチ中、コートを離れてはならない。もしそのような行為をした場合は、遅延行為と見なされる。

#### 6 プレーヤーは次の行為をしてはならない。

- (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
- (3) 相手に対して下品で無礼あるいは不適切な態度、言動  
\*見苦しい服装でプレーしたり、審判員や観客に対して横柄で不品行な振る舞いをしたりすること。
- (4) 競技規則を越えた不品行または不快な行動  
\*ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩くとか、耳障りな掛け声や叫び声を発することなど。

#### 7 違反に対する処置 (1)① 警告(イエロカード) ②③ フォルト(レッドカード) (2) 失格

### <大会運営規程>

- 3 服装については、第23条・第24条によるものとする。また、社会人・大学生は所属名、高校生は学校名、小中学生は所属名と氏名の背面表示またはゼッケン(4点留め)をすること。その際、文字列各行の大きさは、それぞれ6~10cm、横30cm以内とする。
- 4 個人戦において、マッチを棄権したものは、それより後の同一種目及び同大会にエントリーしている他の種目全てにおいて出場できない。ただし、ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除くものとする。また、正当な理由をもった棄権行為としてレフェリーが判断した場合、レフェリーの判断により、棄権後の他のエントリー種目に出場することを認めることがある。
- 5 審判員の判定に対して疑問のある場合は、次のサービスがなされる前に、個人戦では当該プレーヤーが、団体戦の場合は当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。(第37条)
- 6 競技進行の都合で、試合時間やコートを変更する場合がある。(付録10-1「レフェリーの任務」参照)
- 7 表彰式については、原則として第1位~第3位まで、競技終了後の閉会式で行うものとするが、第3位については、帰郷時間とか、交通事情等でやむを得ない理由がある場合は、閉会式前に授与式を行ってもよい。しかし、少なくとも第2位までは、その大会の開催地に配慮し、閉会式の授与式に参加することを義務づける。(付録8-18「表彰」参照)

## <公認審判員規程>

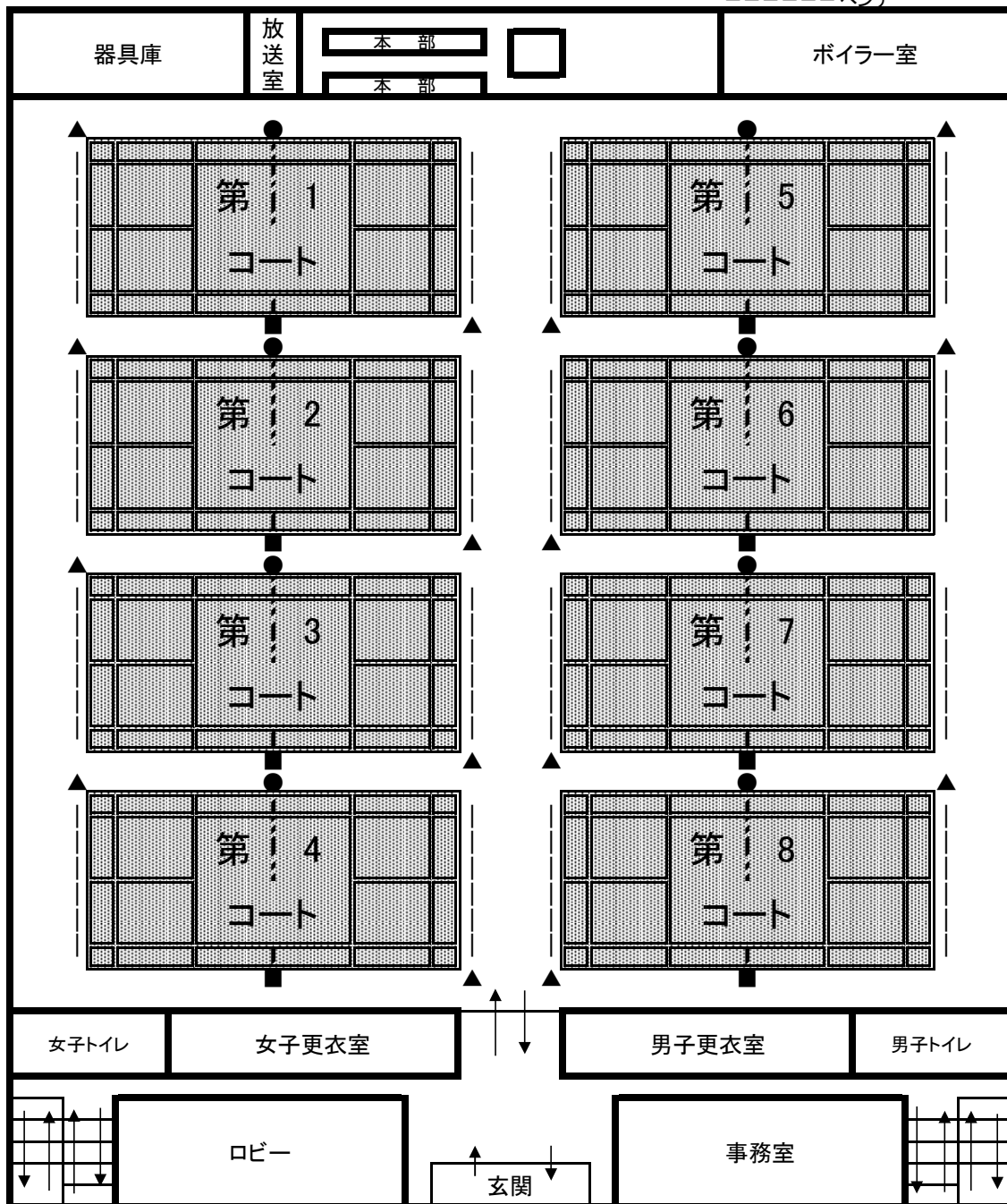
### 8 マッチ前・マッチ中・マッチ終了後の注意事項(第5条)

- 2-(2)ウォームアップは、主審が審判台にすわったところから始まり、マッチ開始時の「(ラブ オール )プレー」のコールで終わる。その際、主審は「レディー トゥ プレー」をコールし、プレーヤーがマッチ開始の準備をするように指示する。
- 6-(7)各ゲーム間のインターバルでは、プレーヤーがエンドを替えた後どちらのサイドも認められたコーチであれば2人までコートに入ってきてよい。そして、主審が「20 秒」とコールしたらコーチはコートを離れなければならない。
- 9-⑤ プレーヤーが言葉やジェスチャーでサービスジャッジまたは線審に影響を与えたり、または脅迫しようとしている場合、そのような行為は不品行な行為として、上記〈競技規則〉2-7を適用する。
- 9-⑥ プレーヤーが汗をかき、その汗を払い、散らしたりした場合、またはそれ以外の行為でコートやその周辺を汚している場合、そのような行為は不品行な行為として、上記〈競技規則〉2-7を適用する。
- 9-⑦ ラリー後、プレーヤーが過度に、喜びを表現したり、また、その行為が無礼で、侮辱的(過度に握った拳を挙げる、相手の方に向かって叫ぶ、興奮してシャツを脱ぐ)なものであった場合、そのような行為は不品行な行為として、上記〈競技規則〉2-7を適用する。
- 12-(2)コーチは、許可されたインターバルの間を除き、マッチ中、指定された席に着席するものとし、コートのそばに立ってはいけない。もし、コーチがほかのコートに移動したければ、必ずシャトルがインプレーでない時にすること。
- 12-(6)コートサイドで、コーチはマッチ中、電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)を使用してはならない。
- 12-(7)コーチにより、プレーが混乱させられたり、相手サイドのプレーヤーの注意がそらされたりしていると判断した場合は、「レット」をコールする。そして、そのようなことが再び起こったならば、すぐにレフェリーを呼ぶ。
- 12-(8)コーチは、コートサイドでマッチにふさわしい服装で臨むこと。(運動靴、長ズボン、チームユニフォーム等)。その適否判断は大会レフェリーに委ねるものとする。
- 14 マッチ中にケガまたは病気には、慎重かつ適切に処置しなければならない。必要ならばレフェリーを呼ぶ。もし、出血がある場合は、出血が止まるまで、あるいは傷が適切に保護されるまで、そのゲームの再開を遅らせる。
- 15 マッチ中のコートまたはコート周辺でプレーヤーの電子通信機器(携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等)が鳴ったとき又は、プレーヤーがコート上でこれらの電子通信機器を使用した場合、不品行または不快な行動の違反とみなされ、上記〈競技規則〉2-7を適用する。

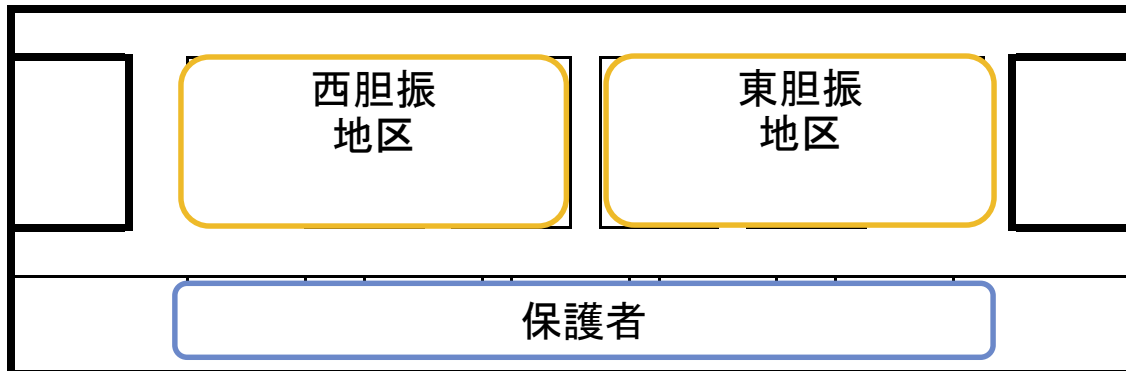
# ●登別市総合体育館 会場図

1F

● 主審 ▲ 線審 ■ 得点係  
-----ベンチ



3F



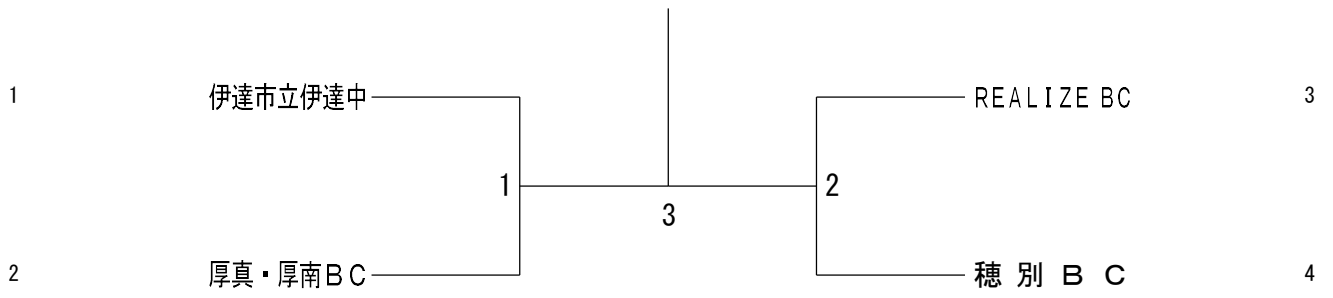
## ※体育館使用上の諸注意

- 1 館内は土足厳禁です。選手および応援者は必ず上靴を用意してください。
- 2 持ち物は指定の応援席に置き、盗難には十分気をつけてください。
- 3 ゴミは各校で責任をもって持ち帰ってください。
- 4 1Fアリーナでの観戦、応援は禁止します。
- 5 アリーナ以外での羽打ちは禁止します。
- 6 アリーナ・観客席でのカメラのフラッシュ撮影はご遠慮ください。
- 7 ロビーでは騒がしくならないようにお願いします。

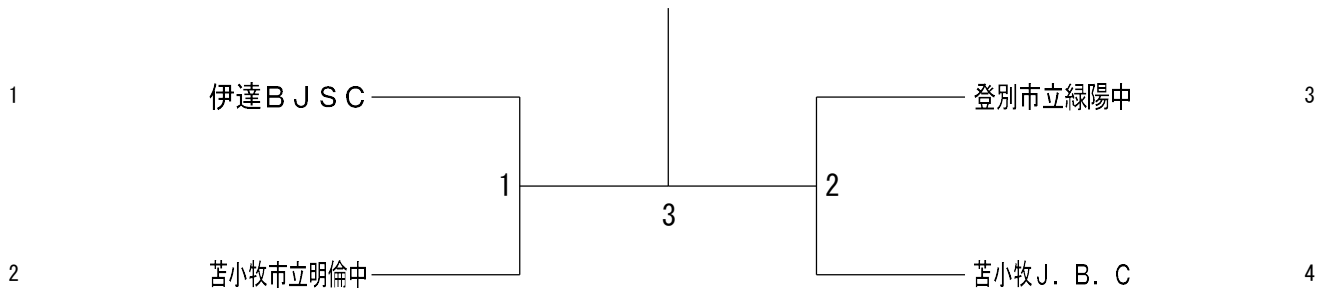
令和8年度 胆振中学校バドミントン大会 タイムテーブル(登別総合体育館)

	1コート	2コート	3コート	4コート	5コート	6コート	7コート	8コート
8:00	開場・コート整備							
	西胆振				東胆振			
8:15	男子団体 1位	男子団体 2位	女子団体 1位	女子団体 2位	男子団体 1位	男子団体 2位	女子団体 1位	女子団体 2位
8:30	個人戦男子				個人戦男子			
8:45	個人戦女子				個人戦女子			
9:00	開会式							
9:20	BT1		BT2		GT1		GT2	
10:20		BT決勝				GT決勝		
11:20	BS-1	BS-2	BS-3	BS-4	BS-5	BS-6	BS-7	BS-8
11:40	GS-1	GS-2	GS-3	GS-4	GS-5	GS-6	GS-7	GS-8
12:00	BD-1	BD-2	BD-3	BD-4	BD-5	BD-6	BD-7	BD-8
12:20	GD-1	GD-2	GD-3	GD-4	GD-5	GD-6	GD-7	GD-8
12:40	BS-9	BS-10	BS-11	BS-12	GS-9	GS-10	GS-11	GS-12
13:00	BD-9	BD-10	BD-11	BD-12	GD-9	GD-10	GD-11	GD-12
13:20	BS-13	BS-14			GS-13	GS-14		
13:40			BD-13	BD-14			GD-13	GD-14
14:00		BS決勝				GS決勝		
14:20			BD決勝				GD決勝	

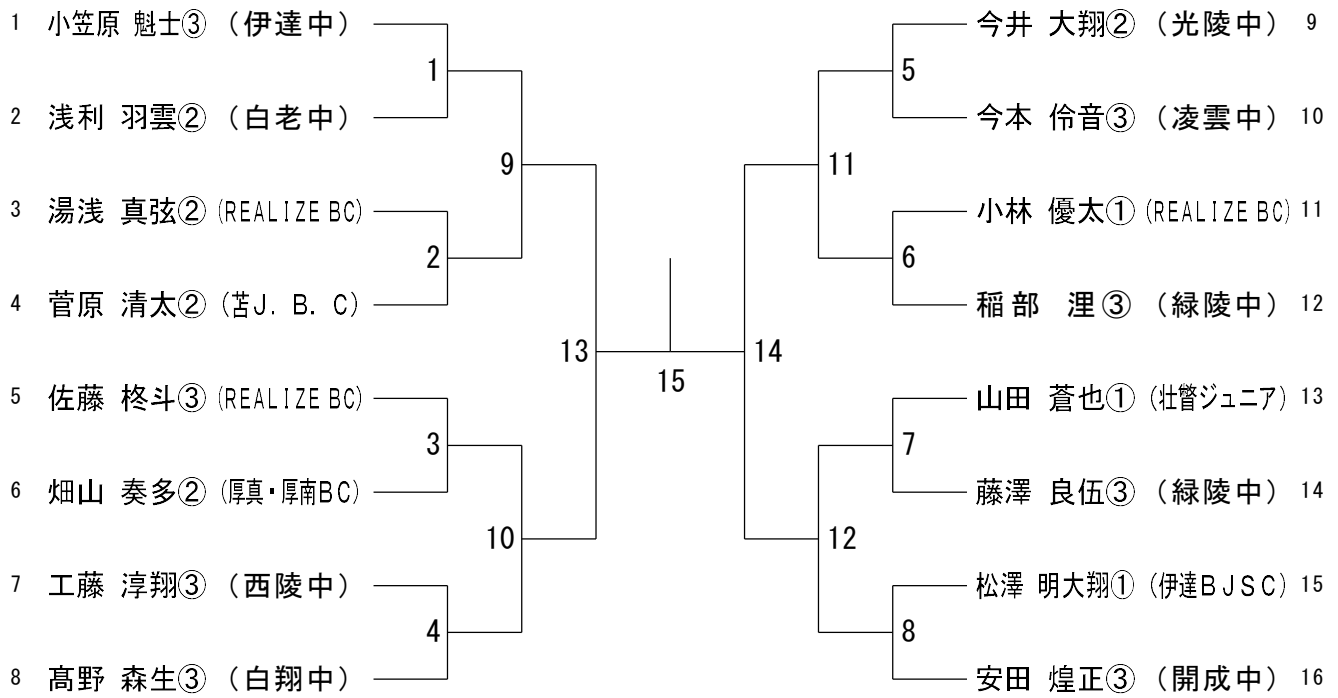
男子団体 (B T)



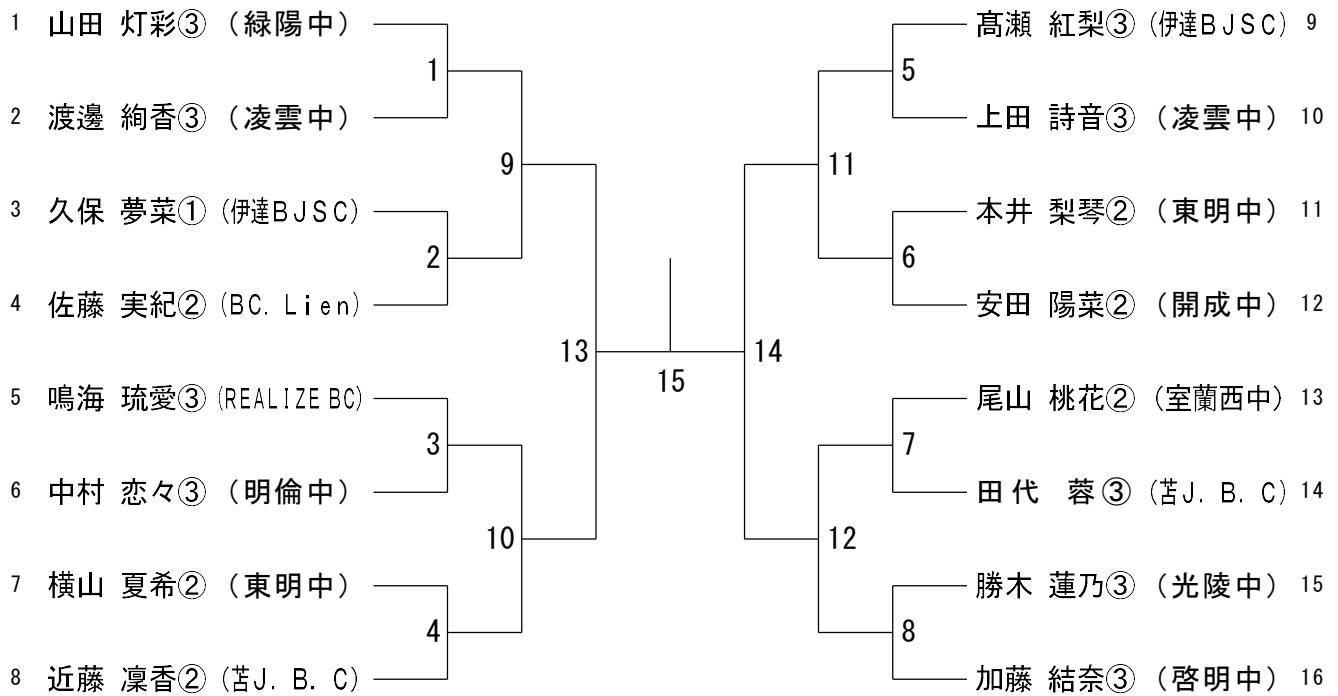
女子団体 (G T)



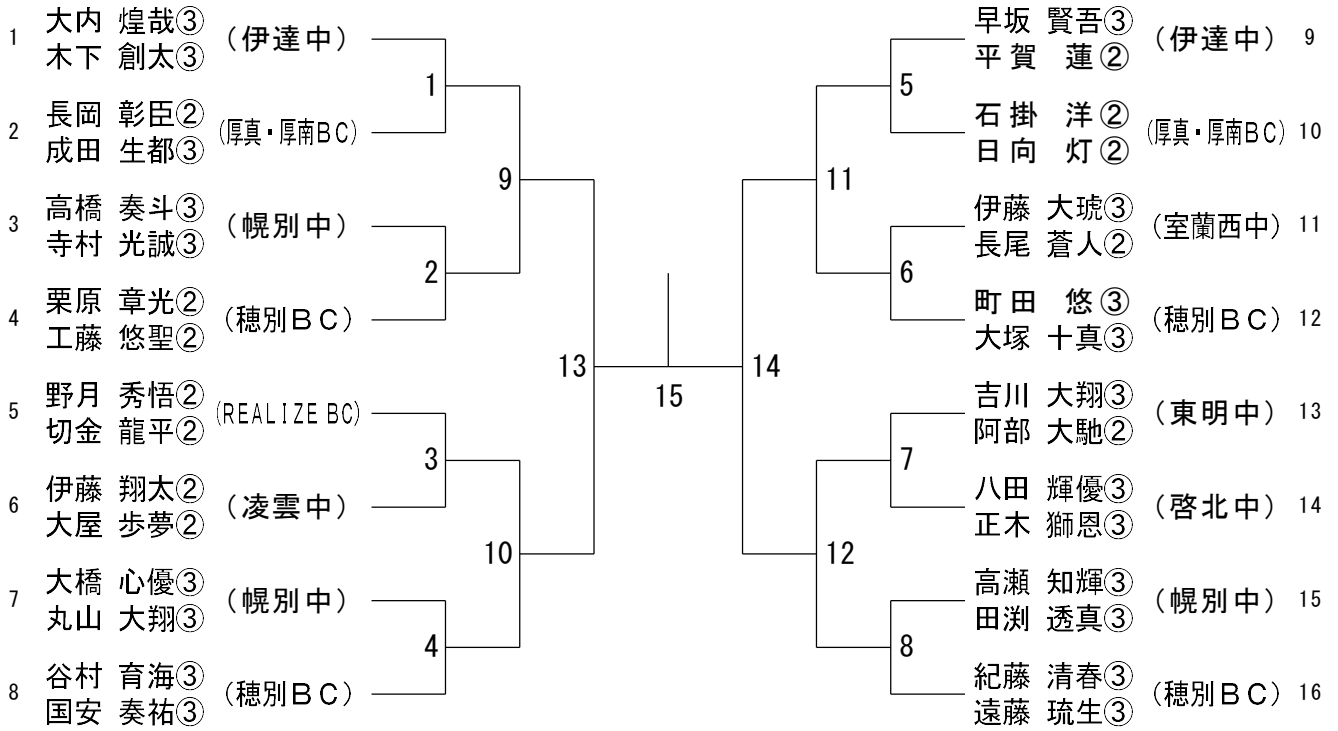
### 男子シングルス (BS)



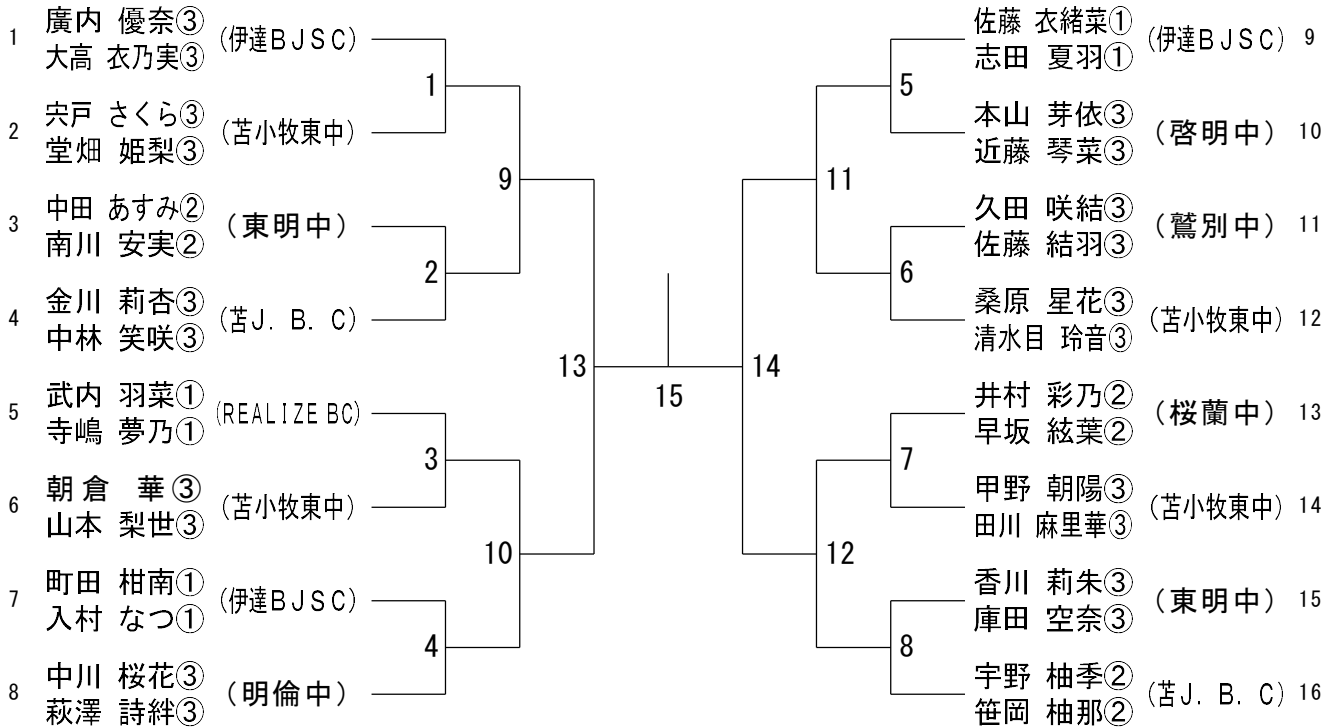
### 女子シングルス (GS)



### 男子ダブルス (BD)



### 女子ダブルス (GD)



## 【東胆振】地区 選手名簿

### 【団体戦】

男子1位			男子2位			女子1位			女子2位		
チーム名	穂別BC		チーム名	厚真・厚南BC		チーム名	苫小牧J.B.C.		チーム名	苫小牧市立 明倫中学校	
監督	飛鳥井 陸		監督	桔梗原 憲		監督	堀部 豊美		監督	松永 龍	
マネージャー	長谷川登哉		マネージャー	桔梗原 臯生		マネージャー	松尾 必勝		マネージャー	工藤 明子	
コーチ			コーチ			コーチ			コーチ		
選手名	学年		選手名	学年		選手名	学年		選手名	学年	
1	紀藤 清春	3	1	石掛 洋	2	1	宇野 柚季	2	1	中川 桜花	3
2	遠藤 琉生	3	2	日向 灯	2	2	笹岡 柚那	2	2	萩澤 詩絆	3
3	谷村 育海	3	3	成田 生都	3	3	金川 莉杏	3	3	伊藤 沙優	3
4	国安 奏祐	3	4	畑山 奏多	2	4	中林 笑咲	3	4	中村 恋々	3
5	町田 悠	3	5	石井 琉太郎	2	5	近藤 凜香	2	5	山澤 茉由	3
6	大塚 十真	3	6	中井 侑大	3	6	田代 蓉	3	6	伊藤 優来	3
7	栗原 章光	2	7	國本 翔太	3	7			7	石浦 梨咲	2

### 【個人戦】

男子シングルス					女子シングルス				
ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名	ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名
1	安田 煌正	ヤスタ コウセイ	3	開成中	1	加藤 結奈	カウケナ	3	啓明中
2	高野 森生	タカノ モリヲ	3	白翔中	2	近藤 凜香	コンド リンカ	2	苫J.B.C.
3	稲部 湊	イナベ カナ	3	緑陵中	3	佐藤 実紀	サトミツリ	2	BC. Lien
3	菅原 清太	スガ ワラセタ	2	苫J.B.C.	3	安田 陽菜	ヤスタ ヒナ	2	開成中
5	今本 伶音	イマモト レン	3	凌雲中	5	渡邊 絢香	ワタベ アヤカ	3	凌雲中
5	畑山 奏多	ハタヤマ カナタ	2	厚真・厚南BC	5	中村 恋々	ナカムラ ココ	3	明倫中
5	藤澤 良伍	フジザワ リョウゴ	3	緑陵中	5	上田 詩音	ウエダ シオン	3	凌雲中
5	浅利 羽雲	アサリ ワク	2	白老中	5	田代 蓉	タノロウ	3	苫J.B.C.
男子ダブルス					女子ダブルス				
ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名	ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名
1	紀藤 清春	キトウキヨハル	3	穂別BC	1	宇野 柚季	ウノズキ	2	苫J.B.C.
	遠藤 琉生	エンドウ ルイ	3	穂別BC		笹岡 柚那	ササオカ ナ	2	苫J.B.C.
2	谷村 育海	タムラ イチ	3	穂別BC	2	中川 桜花	ナカガワ サクラ	3	明倫中
	国安 奏祐	クニヤス ソウスケ	3	穂別BC		萩澤 詩絆	ハギ サシズナ	3	明倫中
3	町田 悠	マチダ ユ	3	穂別BC	3	金川 莉杏	カナガワ リン	3	苫J.B.C.
	大塚 十真	オオツカ トマ	3	穂別BC		中林 笑咲	ナカハ ヤシニコ	3	苫J.B.C.
3	栗原 章光	クリハラ アキミツ	2	穂別BC	3	桑原 星花	クワハラ セイカ	3	苫東中
	工藤 悠聖	クドウ ユウセイ	2	穂別BC		清水 目玲音	シズミ メリン	3	苫東中
5	長岡 彰臣	ナガオカ アキトミ	2	厚真・厚南BC	5	穴戸 さくら	アナド サクラ	3	苫東中
	成田 生都	ナリタイ ト	3	厚真・厚南BC		堂畑 姫梨	ドウハツ ヒメ	3	苫東中
5	八田 輝優	ハチタ ヒロユ	3	啓北中	5	甲野 朝陽	カウノ アサヒ	3	苫東中
	正木 獅恩	マサキ シオン	3	啓北中		田川 麻里華	タガワ マリカ	3	苫東中
5	石掛 洋	イシガキ ユウ	2	厚真・厚南BC	5	本山 芽依	モトヤマ イ	3	啓明中
	日向 灯	ヒナタ ヒカル	2	厚真・厚南BC		近藤 琴菜	コンド コトナ	3	啓明中
5	伊藤 翔太	イトウ ショウタ	2	凌雲中	5	朝倉 華	アサクラ ハナ	3	苫東中
	大屋 歩夢	オオヤ ヒロユ	2	凌雲中		山本 梨世	ヤマモト リ	3	苫東中

## 【西胆振】地区 選手名簿

### 【団体戦】

男子1位			男子2位			女子1位			女子2位		
チーム名	伊達市立 伊達中学校		チーム名	REALIZE BC		チーム名	伊達BJSC		チーム名	登別市立 緑陽中学校	
監督	村上 航也		監督	小山内 正敏		監督	河岸 巽		監督	中野 孝	
マネージャー	萬代 和史		マネージャー	鳴海 慎悟		マネージャー	松澤 真希		マネージャー	菅原 麻衣	
コーチ	高橋 拓也		コーチ			コーチ			コーチ		
選手名	学年		選手名	学年		選手名	学年		選手名	学年	
1	早坂 賢吾	3	1	佐藤 柊斗	3	1	廣内 優奈	3	1	山田 灯彩	3
2	小笠原 魁士	3	2	湯浅 真弦	2	2	高瀬 紅梨	3	2	山本 穂夏	3
3	大内 煌哉	3	3	野月 秀悟	2	3	大高 衣乃実	3	3	笠井 涼那	3
4	木下 創太	3	4	切金 龍平	2	4	佐藤 衣緒菜	1	4	久保田 峰々	3
5	平賀 蓮	2	5	小林 優太	1	5	志田 夏羽	1	5	佐藤 美結	3
6	佐藤 泰成	3	6			6	町田 柑南	1	6	澁木 茉央	3
7	正源 奏輔	3	7			7	入村 なつ	1	7	藤島 葵	3

### 【個人戦】

男子シングルス					女子シングルス				
ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名	ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名
1	小笠原 魁士	オガサワラ カイジ	3	伊達中	1	山田 灯彩	ヤマダ ヒイロ	3	緑陽中
2	今井 大翔	イマイ ダイト	2	光陵中	2	高瀬 紅梨	タカセ アカリ	3	伊達BJSC
3	佐藤 柊斗	サトウ シュウト	3	REALIZE BC	3	鳴海 琉愛	ナルミ ルナ	3	REALIZE BC
3	山田 蒼也	ヤマダ ソウヤ	1	社管ジュニア	3	尾山 桃花	オヤマ モモカ	2	室蘭西中
5	工藤 淳翔	クドウ アツト	3	西陵中	5	勝木 蓮乃	カツキ ハノ	3	光陵中
5	湯浅 真弦	ユアサ マイト	2	REALIZE BC	5	本井 梨琴	モトイ リコ	2	東明中
5	松澤 明大翔	マツザワ アオト	1	伊達BJSC	5	横山 夏希	ヨコヤマ ナツキ	2	東明中
5	小林 優太	コバヤシ ユウタ	1	REALIZE BC	5	久保 夢菜	クボ ユメナ	1	伊達BJSC
男子ダブルス					女子ダブルス				
ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名	ランク	氏名	フリガナ	年	チーム名
1	大内 煌哉	オオウチ コウヤ	3	伊達中	1	廣内 優奈	ヒロウチ ユウナ	3	伊達BJSC
	木下 創太	キノシタ ソウタ	3	伊達中		大高 衣乃実	オオタカ コノミ	3	伊達BJSC
2	早坂 賢吾	ハヤサカ ケンゴ	3	伊達中	2	佐藤 衣緒菜	サトウ イオナ	1	伊達BJSC
	平賀 蓮	ヒラガ レン	2	伊達中		志田 夏羽	シダ ナツハ	1	伊達BJSC
3	吉川 大翔	ヨシカワ ヒロ	3	東明中	3	井村 彩乃	イムラ アヤノ	2	桜蘭中
	阿部 大馳	アベ ダイチ	2	東明中		早坂 絃葉	ハヤサカ イトハ	2	桜蘭中
3	野月 秀悟	ノヅキ シュウゴ	2	REALIZE BC	3	武内 羽菜	タケウチ ハナ	1	REALIZE BC
	切金 龍平	キリガネ リュウヘイ	2	REALIZE BC		寺嶋 夢乃	テラシマ ユメノ	1	REALIZE BC
5	高瀬 知輝	タカセ トモキ	3	幌別中	5	久田 咲結	ヒサダ サユ	3	鶯別中
	田淵 透真	タブチ トウマ	3	幌別中		佐藤 結羽	サトウ ユイハ	3	鶯別中
5	高橋 奏斗	タカハシ カナト	3	幌別中	5	香川 莉朱	カガワ リア	3	東明中
	寺村 光誠	テラムラ コウセイ	3	幌別中		庫田 空奈	クラタ ソナ	3	東明中
5	大橋 心優	オオハシ シュウ	3	幌別中	5	中田 あすみ	ナカタ アスミ	2	東明中
	丸山 大翔	マルヤマ ヒロト	3	幌別中		南川 安実	ミナミカワ アミ	2	東明中
5	伊藤 大琥	イトウ タイガ	3	室蘭西中	5	町田 柑南	マチダ カンナ	1	伊達BJSC
	長尾 蒼人	ナガオ アオト	2	室蘭西中		入村 なつ	ニュームラ ナツ	1	伊達BJSC

<東胆振> 個人戦 監督・マネージャー・外部指導者（コーチ） 一覧

男子

	チーム名（正式名称）	監督	マネージャー	コーチ
1	苫小牧市立緑陵中学校	三上 勇人	道源由加里	
2	苫小牧市立啓北中学校	神保 麻衣	遊佐 直文	
3	厚真・厚南バドミントンクラブ	桔梗原 憲	桔梗原 臯生	
4	苫小牧市立凌雲中学校	角田 稔	渡邊健太郎	
5	白老町立白老中学校	遠藤 友太	福嶋 厚子	
6	白老町立白翔中学校	山田 雄偉	野崎 徹	
7	穂別BC	飛鳥井 陸	長谷川登哉	
8	苫小牧ジュニアバドミントンクラブ	堀部 豊美	笹岡恭代子	
9	苫小牧市立開成中学校	浅井 直子		浅井 哲

女子

	チーム名（正式名称）	監督	マネージャー	コーチ
1	苫小牧市立啓明中学校	内山 泰弘	三浦 志乃	
2	苫小牧ジュニアバドミントンクラブ	堀部 豊美	松尾 必勝	
3	BC.Lien	佐藤 静佳	佐藤 泰久	
4	苫小牧市立開成中学校	浅井 直子		浅井 哲
5	苫小牧市立凌雲中学校	角田 稔	渡邊健太郎	
6	苫小牧市立明倫中学校	松永 龍	工藤 明子	
7	苫小牧市立苫小牧東中学校	戸崎 正基	瓦本 椋也	

<西胆振> 個人戦 監督・マネージャー・外部指導者（コーチ） 一覧

男子

	チーム名（正式名称）	監督	マネージャー	コーチ
1	伊達市立伊達中学校	村上 航也	萬代 和史	高橋 拓也
2	伊達市立光陵中学校	今井 康博	多田 知恵子	高瀬 舞
3	室蘭市立東明中学校	北川 拓郎	松田 冴子	阿部 誠
4	室蘭市立室蘭西中学校	東峰 宏弥	扇 和真	土井 崇
5	登別市立幌別中学校	若松 剛広	伊藤 一希	本名 新一郎
6	登別市立西陵中学校	渡邊 太基		
7	REALIZE BC	小山内 政敏	鳴海 慎悟	
8	伊達BJSC	小笠原 正光	町田 祥	
9	壮瞥ジュニア	山田 光大	大塚 昌也	

女子

	チーム名（正式名称）	監督	マネージャー	コーチ
1	伊達市立光陵中学校	今井 康博	多田 知恵子	高瀬 舞
2	室蘭市立東明中学校	北川 拓郎	松田 冴子	阿部 誠
3	室蘭市立桜蘭中学校	永井 一之	前田 梨沙	
4	室蘭市立室蘭西中学校	東峰 宏弥	扇 和真	土井 崇
5	登別市立鷺別中学校	岡本 祐太	谷川 敦樹	
6	登別市立緑陽中学校	中野 孝	菅原 麻衣	
7	REALIZE BC	小山内 政敏	鳴海 慎悟	
8	伊達BJSC	河岸 翼	松澤 真希	

プレーヤーとそのコーチのための

## 知っておきたいバドミントンのルールやマナー

北海道バドミントン協会 競技委員会  
北海道バドミントン協会 審判委員会

### ■ 正しい競技規則を理解しましょう。

競技規則などは、例年、追加や更新が行われています。[公益財団法人日本バドミントン協会のホームページ](#)に現行の競技規則が掲載されています。



### ■ 大会出場の際の競技用ウェアには決まりがあります。

プレーヤーは、相手または観客に不快な感じを与えないように、競技中、競技用ウェア、シューズを着用することになっています。審査合格品を着用しなければなりません。(大会運営規程第23条)

### ■ プレーヤー、コーチの着衣上の表示には決まりがあります。

プレーヤーまたはコーチの着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示に関する取り決めがあります。競技用ウェアに背面表示などを入れる際は、文字列の大きさや表示できる範囲を確認してください。また、文字などの色は、ウェアの色と明確に区別できるものにしなければなりません。(大会運営規程第24条)

### ■ コーチ席に座る際には、マッチにふさわしい服装で臨む必要があります。

コーチも、マッチにふさわしい服装で臨まなければなりません。

(公認審判員規程 第5条第12項(8))

ふさわしい服装	認められない服装
<ul style="list-style-type: none"><li>○ チームユニフォーム</li><li>○ シャツ    ○ ポロシャツ    ○ ブラウス</li><li>○ ゲームシャツ (他チームの背面は×)</li><li>○ 長ズボンまたはスカート    ○ 運動靴</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>× Tシャツ (長袖Tシャツも×) ※チームTシャツは可</li><li>× ハーフパンツ    × 7分丈パンツ</li><li>× ジーンズ    × スリッパ    × サンドル</li></ul>

※大会によっては、上記とは別にレフェリーが定める場合もあります。

### ■ マッチ (試合) の際は、ラケットバッグなどに持ち物をまとめましょう。

タオル、ドリンクなどはラケットバッグの中に入れてください。ただし、交換用のラケットはバッグの上において準備することが認められています。また、バッグは審判台の近くに置きましょう。



## ■ 審判員の判定に質問ができるのはプレーヤーのみです。

次のサービスがなされる前に限り、主審に質問することが認められています。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。なお、団体戦の場合は、当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められています。(コーチは×) (大会運営規程 第6章 第36条)

## ■ 競技フロアにおける撮影はできません。

ベンチやコートサイドからの撮影(スマートフォン、タブレット、カメラなどによる)はできません。レフェリーに許可を得た報道機関や関係者のみが撮影することができます。

## ■ バドミントンに「セット」という用語はありません。

選手やコーチは、競技規則にある正しい用語を使いましょう。

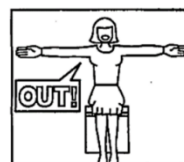
正しい用語の例	誤った用語の例
○ ゲーム	× セット
○ ラインジャッジ (線審)	× ラインズマン
○ チェンジエンズ	× チェンジコート

## ■ 主審をするときの「スコアシートの記入方法」を覚えましょう。

競技規則(諸規程集 通称「赤本」)にある記入例などを参考に記入方法を覚えましょう。簡単な記入例が北海道バドミントン協会のホームページにあります。

## ■ 線審をするときの正しいシグナルを覚えましょう。

アウトのとき	大きな声で「アウト」とコールし 両腕を水平に広げて主審に合図する。
インのとき	無言で、右手でそのラインを指す。



※線審はシグナルと同時に主審を注視(アイコンタクト)しましょう。(公認審判員規程 第8条)

## ■ 対戦相手や審判員(主審・線審)、競技役員をリスペクトしましょう。

プレーヤーとして求められること 競技規則などで求められるもの	マナーとしてふさわしくないこと 競技規則などで認められないもの
○ 最新の競技規則などを理解する	× 主審や線審に対して横柄な態度をとる
○ 対戦相手とあいさつや握手をする	× ネットをたたく
○ 審判員と握手をする	× 相手に向かって叫ぶ、ガッツポーズをする
○ 会場をきれいに使用する	× 相手へのリスペクトを欠く応援やかけ声

# 栄光の記録

	優勝(1位)	準優勝(2位)	3位
男子団体			
女子団体			
男子 シングルス			
男子 ダブルス			
女子 シングルス			
女子 ダブルス			

種目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
男子団体	登別市立幌別中学校	REALIZE BC	REALIZE BC
女子団体	室蘭市立室蘭西中学校	REALIZE BC	室蘭市立室蘭西中学校
男子単	原田 翔斗 (室蘭市立室蘭西中学校)	赤樫 琉希 (REALIZE BC)	赤樫 琉希 (REALIZE BC)
女子単	石山 夏妃 (苫小牧市立ウトナイ中学校)	中居 胡桃 (室蘭市立室蘭西中学校)	黒瀬 結菜 (REALIZE BC)
男子複	後藤 瑛翔 丹羽 驍 (登別市立幌別中学校)	遠藤 大史 塩澤 怜王 (REALIZE BC)	齊藤 虎玖 佐藤 柊斗 (REALIZE BC)
女子複	石川 心音 畠山 桜 (登別市立緑陽中学校)	門澤 愛果 小島 優菜 (REALIZE BC)	中居 胡桃 大高 衣乃実 (室蘭市立室蘭西中学校)